

自分の住所・氏名を記入

			—				
様							



兵庫県立青雲高等学校 兵庫県神戸市長田区池田谷町 2 丁目 5

英語コミュⅡ放送視聴

電話 078-641-4200

折り目②

本校 2 階の提出箱に出すとき

1. 太線内を記入
2. すべてのプリントを重ね、ホッチキスで指定の 1 か所を止める。
3. ①②③の折り目の線を順番に折る。

⑥

折り目
①

郵便で出すとき (上の 1,2,3 に続けて作業)

4. 青雲高校のあて名が見えるように重ねる。
5. ホッチキスで指定の 1 か所をとめる。
6. 15 円分の切手をはる。(1 か所)

その他の注意

本校が休みの日やあいている日でも夕方 5 時を過ぎて届いたとき → 次にあく日の受付になります。

- ① 毎週火曜日と土曜日は本校は休みです。
- ② 祝祭日が火曜日やスクーリング、学校行事と重なったときは、他の日が振替休日になります。

折り目③

6 5 3 - 0 8 2 1

神戸市長田区池田谷町 2 丁目 5 番地

兵庫県立青雲高等学校

(電話 078-641-4200)

15円分
の切手を
はる

英語コミュⅡ (放送視聴)

レポート担当者

先生

← 注意：記入がない場合は受付けません。

ホッチキス(郵送のときだけ)

2025年度 英語コミュII

放送視聴

第5回（後期提出分）

放送視聴 2025 年度	第 5 回 (後期提出分)	年次一組	登録番号	評価
学習内容（ラジオ第 2） 英語コミュニケーションⅡ All Aboard! Lesson 7				合格・不合格
		氏名		

英語コミュニケーションII スクーリングの必要数について

スクーリングは、前期は4回、後期終了までに12回出席しなければなりません。
ただし、放送視聴を7回利用することができます。

英語コミュニケーションII 放送視聴について

NHK 高校講座「英語コミュニケーションII」（ラジオ第2）の指定された放送を視聴し、この課題に取り組むことでスクーリング1時間の代わりになります。この放送視聴課題にあるQRコードから指定回を視聴することができます。QRコードが使えない場合はNHK高校講座「英語コミュニケーションII」（ラジオ第2）を検索してください。

第1回から第7回まで、スクーリングの代わりに、この教材が利用できます。
第1回から第4回は前期提出分です。
前期に利用しなかった第1回から第4回分は、後期に11月末まで利用することができます。
第5回から第7回は、後期提出分です。後期にしか利用できません。

放送視聴課題を提出するときの注意

- ・ 空白は再提出の対象となります。全て記入すること。
- ・ 放送視聴課題は必要事項（住所・登録番号・名前・レポート担当者名）を記入の上、レポート提出ボックスに直接入れるか、15円切手を貼って郵送すること。
- ・ 不合格のみ返却します。その場合はやり直し至急再提出してください。

合格の場合は返却しません。RS 個人票で出席になっているかを確認してください。

第5回 英語コミュニケーションⅡ 放送視聴



課題 第27回 Lesson 7 - Over The Wall (4) を聞いて、次の質問に答えなさい。

Listening

アナの話聞いて、次の1、2の質問の答えとして最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

1. アナは日本の高校生とどのようにして交流したいと思っていますか。 ()



2. アナはなぜその方法で交流したいのですか。 ()

- a) Because music is a kind of common language of the world.
- b) Because everyone likes music.
- c) Because Ana loves the brass band at school.

Speaking

対話を聞いて、空所に適する語を下の語群から選んで書き入れなさい。

A : What do you want to do to _____ with people from abroad?

B : I want to _____ music with them.

A : Why?

B : Because I think _____ is a kind of common language of the world.

When we create music together, I feel that we are all _____.

語群

communicate /

connected /

music /

play

Interaction

放送を聞いて、2 人の答えを下のア～ウから選んで、記号で答えなさい。

- ア I want to play video games with them.
- イ I want to sing songs with them in Japanese.
- ウ I want to recommend Japanese anime and comic books to them.

Summary

As a high school student, Miyazaki Kensuke visited Belgium and discovered that art can () people. When he was 26, he went to Kenya and created a () for a school. The children looked so delighted when they saw their () animals in his mural. Through this (), he decided to create murals to make people (). He has created murals in () countries and will continue this project in many more countries.

語群 connect / different / experience / favorite / happy / mural

Today's Key Word

()